

# 機関誌 つばさ

発行:認定 NPO 法人 よこはま成年後見つばさ

保土ヶ谷区釜台町5番5号 ルネ上星川5-202 TEL&FAX 045-744-5600 E-mail teamtubasa@yokohama.email.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/hama/tubasa/index.html>

発行日:2018年10月10日



## 7月から9月の業務

- 18.07.03 65 番目の審判書
- 18.07.11 ランチミーティング
- 18.07.13 66 番目の審判書
- 18.07.20 67 番目の審判書
- 18.07.24 かながわNPO 法人後見連絡会
- 18.08.03 68 番目の審判書
- 18.08.06 横浜市健康福祉局生活支援課長話し合い
- 18.08.21 第7回担当者養成講座修了式
- 18.09.01 事務所移転

## 申立後方支援

成年後見制度利用の壁の一つに家裁申立の難しさがあります。しかも申立支援は不十分です。多分、この分野は弁護士、司法書士の業務独占の分野であり、手が出せないことに原因がありそうです。資力のある方は弁護士、司法書士にお願いすれば解決します。問題は、資力の乏しい方についてです。法テラスを利用することもあります。つばさでは申立支援専門員を独自に養成しています。

それぞれの事情に合わせて申立の仕方を慎重に見極め、必要であればこの申立支援専門員による無料の申立後方支援を行います。

- ・区役所から取り寄せる書類・法務局から取り寄せる書類・診断書の作成依頼
- ・申立書、財産目録等の作成・家裁申立予約

などを申立者及びその支援者と共に考え進めます。この過程がラポール(信頼関係)構築です。それにしても高齢者・障害者のデュープロセス(適正手続)は、貧弱です。

## 講演会・研修会のご案内、報告等

### 保土ヶ谷区民まつり

区民まつりに今年度も参加します。

日時:2018年10月20日(土)  
10時~15時

場所:保土ヶ谷公園

### 担当者会議

日時:2018年10月27日(土)  
13:00~16:00

場所:つばさ新事務所

内容:①法人からの報告②事務所移転に関する各担当者の手続き  
③担当者情報交換



### 診断書の改正案



財産管理の制度とされてきた成年後見制度、それを裏付けるのは現行の診断書です。診断書が求めてきたのは財産管理の能力でした。今それが変わりつつあります。

昨年8月2日、最高裁家庭局で行われた診断書の在り方検討会で、私たちも意見を提出しました。「判断能力」が不十分の判断能力とは、「財産管理の能力」ばかりではないとし、医師が診断書等を作成するに当たっては、福祉関係者等が有している本人の置かれた家庭的・社会的状況等に関する情報も考慮できるよう、本人の状況等を医師に的確に伝えることができる情報提供書を提言しました。

現在、厚生労働省に設置された成年後見制度利用促進専門家会議に、最高裁家庭局から診断書の改正案が示されています。注目すべきは、財産管理能力が引込んだことです。新たに本人情報シートが提案されたことです。

### ランチミーティング

2018年7月11日(水)、被後見人のSさんと担当者が私(理事長)を訪ねてきました。

Sさんとは30年来の知り合いです。2000年の介護保険導入時には、某区で行政主導の介護者支援のネットワークを立ち上げましたが、その時には事務局長として協力をしてくれました。

その後Sさんは病気をして、後遺症で高次脳機能障害となり成年後見制度の利用者になりました。古いことはよく覚えているので、何の違和感もなく会話ができました。

ランチミーティングと評してみんなで昼食を食べました。ランチミーティングは、気軽に、楽しく開くことができます。これからはつばさの余暇活動支援の正式企画に入れたいと思います。

### 歓送迎会

2018年7月12日(木)、常勤職員の林田さんと中和田さんを囲んでランチをしました。林田さんが産休に入り、中和田さんがその後任になるので、ささやかな歓送迎会です。

ランチは、熊谷さんが特注してくれました。美味しかったです。林田さん、ご苦劳様でした。中和田さん、よろしくね。



### 実習生

2018年8月28日(火)、業務検討会に急遽、日本福祉大学(通信)の学生が社会福祉士を目指し、実習生として参加しました。中学・高校の時から福祉職を目指してきたとのこと。冒頭、守秘義務を説明し「業務検討会・研修等に関わる個人情報に関する誓約書」にサインを求めました。

「チームワークで対応していること。色々な角度から議論されていることなどが分かりました。」が、実習生の感想でした。これからも次代を担う人材育成を大事にします。

